

学校保健分科会

I 研究のあゆみ

4月21日(月)	2025年度名教組教研オリエンテーション (2025年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月8日(木)	研究計画の検討	【教育館】
6月6日(金)	発表テーマ報告・集約	【教育館】
6月～8月	研究内容の検討(第2次実践の検討と研究のまとめ方) 個別にレポート検討	
9月11日(木)	市集会発表内容の検討 (発表プレゼンテーションの確認および発表手順の確認)	【教育館】
9月20日(土)	第75回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウインクあいち】

II 研究協議の概略

心の健康について(2本) 安全について(1本) 口腔内の健康について(1本)
睡眠について(1本) 姿勢について(1本)

子どもたちの実情から健康課題を捉えた6本の実践が報告された。直面している健康課題を主体的に解決できるようにするための指導方法を工夫し、子どもたちの心に届くような実践が進められている。

<主な内容>

- アサーション教育を通して自分も相手も大切にす関わり方を考える実践
- ストレスと上手に付き合い、自分に合った「心スッキリ」の方法を考える実践
- 危険予知トレーニングをしてけがをしない、させないための行動を考える実践
- 歯肉炎予防のために学校歯科医と連携して歯垢染め出しテストをし、自分に合った磨き方の工夫をする実践
- 睡眠の時間と質を良くするために下校後の行動を振り返り、マイルーティンを作る実践
- 姿勢が心身の健康や周りからの印象に与える影響を考え、改善方法を考える実践

III 今後に残された課題

- 短期間の実践では実感しにくかったり、その場限りになりがちだったりするという課題がある。継続的な指導をどのように進めていくか。
- 学校で取り組んだ内容が家庭に伝わりにくいという課題がある。学校ホームページや保健だよりを使って発信する他、授業プリントに家庭からのコメント欄を作るなど、伝え方をどう工夫していくか。